

令和5年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	土木学会新潟会「土屋雷蔵賞」	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	表彰活動支援事業		事業区分	表彰、コンクール	

1. 事業目的

公益社団法人土木学会関東支部新潟会では、産・官・学の情報交換を図り、多様化する土木技術の実情を把握するとともに、より一層の技術の向上を目指す目的で、毎年、研究調査発表会を開催している。
本賞は、新潟地区の土木工学に係る学術・技術の進展に尽力、土木事業の発展に寄与された故 土屋雷蔵工学博士を称え制定した制度で、地域を支える土木技術者を育成することを目的に、研究発表会の優秀講演者を表彰する。

2. 事業実施体制

主催：(公社)土木学会 関東支部新潟会
協力：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

◆令和5年度(第41回)研究調査発表会概要
日時:令和5年11月22日(水) 9:30~16:20
会場:ハイブ長岡(長岡市内)
プログラム:
・セッション(課題発表) 7部門102課題

◆土屋雷蔵賞概要
対象者:論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れた者
選定方法:各セッションの座長が そのセッションでの発表者を評価
その評価に基づいて若干名を受賞対象者として決定
別途「規定」「内規」に基づき選定
第25回土屋雷蔵賞受賞者:4名
*新潟会ホームページにて賞の概要と受賞者を公表

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本賞は、平成11年度第17回研究調査発表会より始められ、令和5年度までに計114名が受賞している。
故 土屋雷蔵 博士は、旧建設省技官として北陸の地に勤務した。全国有数の交通量を誇る全線立体構造の新潟バイパスを構想段階から牽引し、地域特有の雪に強い道路づくりを推進するなど、先見性と実行力に優れた土木技術者である。
その名を冠した表彰制度は、産官学の若手研究者・技術者の調査研究を推進・奨励し、地域を支える土木技術者を育成することに大きな意義を持つ。



受賞者の紹介



研究発表会

土木学会新潟会	
第41回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会 (2022年11月22日)	
第II部門 中核的役割と東下木炭山の相付特性を導出した乱木斬新	小坂 聖弘(民間技術者)
第III部門 種々イベントナイト融合十の過渡期を創る実践的検討	藤田 輝良(新)
第IV部門 Sentinel衛星画像データセットを利用した土地被覆変化の自動抽出に関する検討	市原 直人(民間技術者)
第V部門 数値計算における既設バイパスの効率的な設計手法を用いた非線形・非定常解析の検討	岡田 賢祐(新)

土木学会関東支部新潟会 「研究調査発表会優秀講演者表彰土屋雷蔵賞」について	
<p>土木学会関東支部新潟会は、新潟県内における土木工学に係る学術、技術の進展、土木事業の発展及び会員相互の親睦を図ることを目的として昭和54年に設立されました。発足以来、研究調査発表会、講演会、技術講習会、工事現場見学会などの活動を通じて会員相互の親睦並びに土木のイメージアップに努めて参りました。</p> <p>本賞は、新潟地区の土木工学に係る学術、技術の進展にご尽力され、土木事業の発展に寄与された故 土屋雷蔵 工学博士を称え、土木学会関東支部新潟会が独自に制定した表彰制度です。産官学の若手研究者・技術者の調査研究を推進・奨励し、地域を支える土木技術者を育成することを目的として、研究調査発表会の優秀講演者を対象に、平成11年度より表彰活動を行っております。</p>	<p>対象者 研究調査発表会で実際に発表した35歳以下の発表者の中から、論文内容に加えて、発表資料、質疑応答が簡潔明瞭で優れた者を表彰します。</p> <p>今年度の選出方法 発表会において各セッションの座長がそのセッションでの発表者を評価し、その評価に基づいて若干名を受賞対象者として決定します。</p>

HPでの受賞者及び賞の概要公表